

## (3) デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化

### 3-1 「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進

#### 目 標

観光・文化芸術・特産品の動画配信を促進し、地域振興や地域ブランド力の強化につなげます。

#### 【現状と課題】

- ・日本、さらには世界の中で存在感のある地域ブランドを構築していくためには、本県固有の観光資源や文化芸術、特産品などを磨き上げ、情報発信していく必要があります。
- ・近年では、インターネットを通じた動画による情報発信が増えており、本県でも動画サイト「あいちインターネット情報局」の開設やユーチューブの活用など動画による情報発信に努めています。しかし、活用例がまだ少なく、十分に生かされていない状況です。
- ・こうしたことから、2010 年度には、「インターネット動画導入促進事業」を実施し、動画活用マニュアルの作成やモデル動画の制作を行いました。また、このモデル動画の制作手法のひとつとして「奥三河プロモーションビデオ企画コンテスト」を開催し、コンテンツクリエイターの育成にも取り組んでいます。
- ・また、公式Webサイト「ネットあいち」には「動画ギャラリー 感☆動!あいち」を設け、人気のある動画を紹介しています。

#### ユーチューブを活用した地域情報の配信例



あいちの離島PR大作戦!



デート de 知多あるき

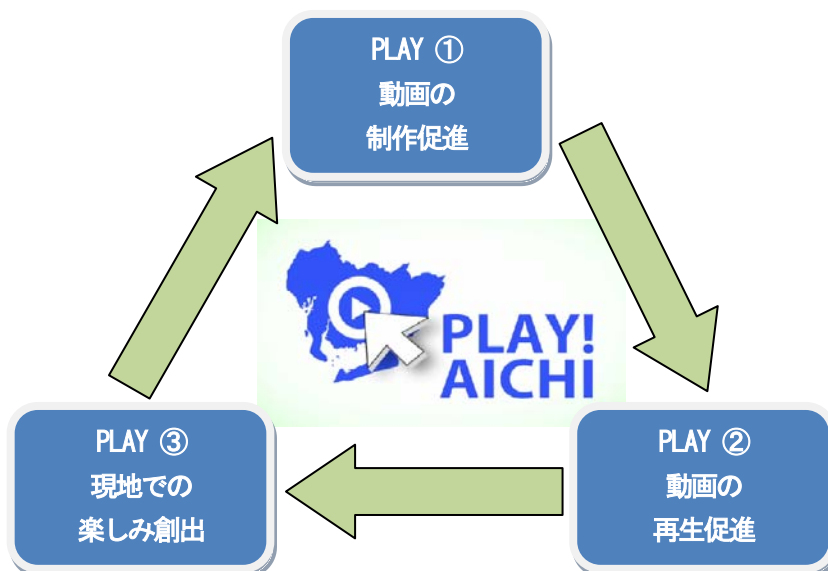
#### 【施策の展開】

#### (ネット動画を活用する「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進)

- ・県、市町村、観光関係団体、農業協同組合、NPO などが一体となって観光や文化芸術、特産品に関するネット動画の制作・配信を強化する「PLAY! AICHI プロジェクト」を推進していきます。(関係部局)

- ・ネット動画の制作・配信にあたっては、動画内容にエンターテインメントの要素を取り入れるなど、訴求力を高める工夫をするとともに、よしもとクリエイティブ・エージェンシーなど情報発信力を持つ企業とも連携して進めていきます。(関係部局)
- ・市町村や観光関係団体、農業協同組合などによる動画制作をサポートするため、ネット動画を配信しているNPOなどとも連携しながら、動画や写真の素材を融通しあう組織づくりを行っていきます。(地域振興部)

### 「PLAY! AICHI プロジェクト」のコンセプト



### (ネット動画の多メディア展開)

- ・ネット動画の配信にあたっては、「動画ギャラリー 感☆動! あいち」に加え、ユーチューブを積極的に活用していきます。また、ホームページのリンク機能やQRコード、AR技術などを活用して、視聴者の誘導を図っていきます。(関係部局)
- ・制作したネット動画については、CATVやホワイトスペースを活用した地域ワンセグ、デジタルサイネージ(電子看板)など様々なメディアを活用した2次利用ができないか検討していきます。(関係部局)

ネット動画「デート de 知多あるき」の多メディア展開の例

メディア	放映状況
CATV	知多半島北部のCATV「知多メディアス」での放映
タクシーエムTV	名鉄交通タクシー約670台の車内での放映
ブログサイト	「知多娘。公式ブログサイト」など様々なブログサイトを通じた配信
セカイカメラ	動画で紹介した観光スポットに配置したセカイカメラのエアタグからの配信
スマートフォン用アプリ	NTTドコモのアプリ「ご当地ガイド」からの配信
デジタルサイネージ・モニター	名鉄金山駅、「Anime Festival Asia 2011」(シンガポール)での放映

## 3-2 ソーシャルメディアの活用

### 目 標

ソーシャルメディアを活用し、観光・文化芸術・特産品の魅力をきめ細かく伝えます。

#### 【現状と課題】

- ・観光資源や文化芸術、特産品などの地域資源を生かした地域づくりを行っていくには、地域資源の発掘、磨き上げ、情報発信という活動を一体的に行っていく必要があります。
- ・近年では、ユーチューブやユーストリーム、ブログサイト、ツイッター、フェイスブックなど新たな情報発信手段が数多く生まれていますが、双方向の情報発信が可能なソーシャルメディアは、地域資源の発掘、磨き上げ、情報発信という活動を実践しやすい媒体となっています。
- ・県におけるソーシャルメディアの活用例としては、ブログサイトの「LET'S GO! あいち」、「三河の山里だより」、「あいちの離島 80 日間チャレンジ!」や、フェイスブックページ「リニロコとぴっくす」、愛知県図書館の開館 20 周年記念公式ツイッターなどがあり、ブログサイト、フェイスブック、ツイッターなど複数のソーシャルメディアを組み合わせた活用も始めていますが、まだ活用例は少なく、ソーシャルメディアの持つ力を情報発信や地域づくりに十分に生かしてきていない状況です。
- ・一方、ソーシャルメディアでは、非難や批判のコメントなどが殺到する、いわゆる「炎上」という事体も発生していることから、活用にあたっては、メディアの特性に合わせた注意が必要となっています。

#### ブログサイト「三河の山里だより」を核としたモデル的な取組の事例

モデル的な取組み事例	概 要
ツイッターの活用	・「三河の山里だより」の記事を書く特派員がツイッターでも情報発信
ユーストリームによる生放送	・あいちのふるさと農林水産フェア（名古屋ドーム）で行われた「三河の山里体感プラザ」の様子を生中継。
Web サイト「高速日和」への配信	・中日本高速道路株式会社の公式 Web サイト「高速日和」に「三河の山里だより」の記事を配信
NPO 制作動画の読み込み	・NPO 法人てほへがユーチューブや CATV で配信している動画「のき山放送局」を読み込み、ワンストップで情報提供
ブログ連携	・三河山間地域に居住する住民のブログサイトのの記事を読み込み、生活に密着した情報も配信
大学連携	・名古屋大学と連携し、情報発信のあり方を検討

## 【施策の展開】

### (ソーシャルメディアによる訴求力の強化)

- ・ソーシャルメディアの効果的な活用方法を探るため、様々なモデル的な取組を行いながら、効果や課題を検証していきます。また、この検証結果については、「あいち ICT 活用推進本部幹事会」や「あいち電子自治体推進協議会」などを通じて各部局、あるいは市町村との間で情報共有を図っていきます。(関係部局)
- ・地域振興の必要性が高い地域においてフェイスブックの活用をモデル的に進めていきます。(地域振興部)
- ・イベントの告知や講演会の視聴者拡大にツイッターやユーストリームの活用を促進するため、実際のイベントなどを活用したモデル的な取組を実施していきます。(地域振興部)
- ・ソーシャルメディアを活用しながら、県や市町村などのキャラクターが連携して情報発信を行う仕組みを検討していきます。(知事政策局・地域振興部)



フェイスブックページ「リニロコとびっくす」

### (ソーシャルメディア活用指針の策定)

- ・ソーシャルメディアの活用にあたっては、国が策定した「国、地方公共団体等公共機関における民間ソーシャルメディアを活用した情報発信についての指針」などを踏まえて、適切に対応するとともに、モデル的な取組を行いながら、本県独自の活用指針の策定を検討していきます。(関係課室)

### 3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実

#### 目 標

観光情報の訴求力を高め、国内外からの誘客を増やします。

#### 【現状と課題】

- ・観光情報については、社団法人愛知県観光協会などの観光関係団体を中心に情報発信を行っています。また、県でも国のふるさと雇用再生特別基金事業を活用してブログサイト「三河の山里だより」などを開設するなど訴求力の高い地域密着情報の発信にモデル的に取り組んでいますが、国の対策が終了した後の対応を検討していく必要があります。
- ・県では、スマートフォン向けの観光アプリケーション（アプリ）の開発やAR技術を活用した情報発信などICTの新技术を活用したモデル的な取組みを2010年度から開始しており、この成果を確認しながら、拡大していく必要があります。
- ・観光情報の発信は、国内に限らず、海外、特に訪日観光客の増加が見込まれる中国を始めとする東アジアに対する情報発信を強化していく必要があります。
- ・(社)愛知県観光協会のWebサイトでは、本県の魅力を多言語で紹介する「愛知県観光動画シアター」や「外国語による愛知県観光地ナビ」を設け、東アジアに向けて情報発信しています。
- ・外国人旅行者とのコミュニケーションに活用できるよう、宿泊・飲食施設、観光案内所等で必要と想定される単語や会話文を多言語で整理した「愛知県観光多言語翻訳システム」を運用しています。

#### ICTを活用した観光情報の発信事例



アンドロイド携帯専用アプリ「ミッション in 佐久島」



知多半島43ヶ所に設置したセカイカメラのエアタグ

#### 【施策の展開】

##### (新技术を活用したコンテンツの導入)

- ・外出先での利用が便利な観光情報については、携帯情報端末を活用したアプリ化や電子書籍化を検討していきます。また、これらの制作にあたっては、動画の活用や位置情報との連動などICTの特性を積極的に活用し、訴求力を高めていきます。(地域振興部)
- ・愛・地球博記念公園などにおいてAR技術(拡張現実)を活用した観光コンテンツづくりにモデル的に取り組んでいきます。(地域振興部)
- ・新技术を活用したコンテンツの成果については、市町村や観光関係団体に情報提供していくとともに、コンテンツの開発を支援していきます。(地域振興部)

## (既存コンテンツの充実)

- Web サイトを通じた観光情報の発信は、社団法人愛知県観光協会が開設している「愛知県観光ガイド」を核としながら、「あいちの産業観光」や「武将のふるさと愛知」、ブログサイト「LET'S GO! あいち」、「キラッと 奥三河観光ナビ」などと効果的に連携させ、情報発信内容や使い勝手の充実を図っていきます。(地域振興部・産業労働部)
- 観光情報の Web サイトへのアクセスを容易にするため、バナー広告の掲載などを行っていきます。(産業労働部)
- 地域密着情報の発信については、無料のブログサイトやフェイスブックページを活用するなど、きめ細かな情報発信が可能となる事業手法を検討していきます。(関係部局)
- 映画やテレビ向けのロケを誘致するため、「愛知県ロケ地情報データベース」の充実や周知を図っていきます。(産業労働部)
- 地上デジタル放送の文字情報を活用し、イベント情報などを発信していきます。(知事政策局)
- 中部広域観光推進協議会において、Web サイトなどを通じた観光プロモーションが充実されるよう、働きかけを行っていきます。(産業労働部)

## (海外への情報発信)

- 海外からの誘客を促進するため、観光関係団体と連携して、Web サイト、動画、電子パンフレットなどの多言語化(英語・中国語(簡体字、繁体字)・韓国語など)を推進していきます。(産業労働部)
- 東海地方の魅力的な観光資源や特産品等を紹介する地域情報番組を制作し、海外の放送局等を通じて放送する「東海コンテンツ流通協議会」を通じた情報発信を検討していきます。(知事政策局・地域振興部・産業労働部・農林水産部)

## 3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実

### 目 標

ICT を活用し、文化芸術をもっと親しみやすくします。

#### 【現状と課題】

- ・文化芸術情報については、デジタルアーカイブなどにより情報発信を行っていますが、あいちトリエンナーレや世界無形文化遺産への登録が見込まれる「花祭」によって注目が集まる本県の文化芸術情報をより積極的に情報発信していく必要があります。
- ・国立西洋美術館（東京）では所蔵作品を紹介する動画がスマートフォンのアプリで無償提供されています。また、作品の展示箇所が点在していた瀬戸内国際芸術祭（香川県・岡山県）では作品位置を確認できるスマートフォンのアプリが無償提供され、ツイッターと連携して情報共有もできるようになっているなど、文化芸術の分野でも ICT の利活用が進んでいます。

#### 主なデジタルアーカイブ

愛知県美術館「コレクション検索」	・所蔵作品のテキストデータ約 4,000 点の紹介
陶磁資料館「収蔵品案内」	・代表的な収蔵品 500 点の紹介
愛知県図書館「絵図の世界」	・江戸時代から明治時代にかけて作成された絵図約 750 点の紹介
文化財ナビ愛知	・国・県指定文化財と国の登録文化財の紹介
学びネットあいち「学習コンテンツ」	・国・県指定の無形民俗文化財などを動画で紹介

#### 【施策の展開】

##### （携帯情報端末向けアートガイドの導入）

- ・佐久島に展示されている現代アート作品をスマートフォンなどの携帯端末で解説するモデル的な取組を行っていきます。また、この成果について、市町村や文化芸術団体に提供し、他の文化芸術施設や展示会の解説に活用できないか検討していきます。（地域振興部・県民生活部）
- ・陶磁資料館において AR 技術（拡張現実）など ICT の新技術を活用した展示解説にモデル的に取り組んでいきます。（地域振興部・県民生活部）

##### （デジタルアーカイブの充実）

- ・愛知芸術文化センターや陶磁資料館などが収蔵するコレクションのデジタルアーカイブ化を進め、Web サイトにおいて順次公開していくとともに、より分かりやすく紹介できるよう Web サイトにおける掲載方法の見直しを図っていきます。（県民生活部）
- ・国・県指定の文化財などを紹介する Web サイト「文化財ナビ愛知」において、絵画・工芸・史跡の情報を新たに追加していきます。また、銃砲刀剣等登録原簿や文化財総目録及び指定文化財台帳など、文化財情報のデジタル化・データベース化を進めていきます。（教育委員会）
- ・市町村のデジタルアーカイブ作成を支援するため、「市町村デジタルアーカイブリンク」集の充実を図るとともに、市町村に対する地域文化資産のデジタル化・データベース化の普及啓発を進めていきます。（地域振興部）

## 3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実

### 目 標

特産品の魅力を分かりやすく紹介し、人気を高めます。

#### 【現状と課題】

- ・特産品の良さ（価値）を消費者に分かりやすく伝えることが他の特産品との差別化を図るうえで重要になっています。
- ・国によるふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、県産品の販売、販路拡大、及び、観光情報の発信を目的として設置されたアンテナショップ「ピピッと！あいち」のWeb サイトや「あいちグルメ図鑑」などにおいてインターネットを通じた特産品紹介を行っています。
- ・インターネットを通じて特産品を販売するネットショッピングが一般的になっており、特産品のネットショップを運営している都道府県も数多くありますが、本県ではネットショップは設置されていません。

#### 【施策の展開】

##### （情報発信力の強化）

- ・消費者ニーズの把握と、それに応える商品の生産、さらには、そうした商品の良さ（価値）を消費者に分かりやすく伝える取組について、ICT の活用も視野に入れながら検討していきます。（農林水産部）
- ・Web サイトを活用して、情報発信の一元化など県民が利用しやすいポータルサイト環境を整えるとともに、食や農林水産業に関する様々な情報を積極的に発信していきます。（農林水産部）
- ・伝統工芸品や郷土工芸品を紹介する外国語版ホームページを作成し、海外への情報発信を行います。（産業労働部）

##### （安全安心を支える情報システムの確実な運用）

- ・牛肉などに対する安全性を確保し、分かりやすく消費者に伝えるため、トレーサビリティシステムなどの的確な運用を支援していきます。（農林水産部）
- ・養牛農家の全ての牛の情報を管理する「家畜個体識別システム」については、データの信頼性を確保するための指導を継続的に行っていきます。（農林水産部）

##### （インターネットを通じた販路開拓の支援）

- ・インターネットを活用した販路を開拓するため、インターネット上のショッピングモールへの中小企業の出店支援などを行います。（産業労働部）



## 3-6 企業等との連携による情報発信力の強化

### 目 標

企業やNPO と連携し、それぞれが持つ力の相乗効果により情報発信力を高めます。

#### 【現状と課題】

- ・情報発信力を強化していくためには、企業やNPO と連携し、企業が持つ全国的な情報発信力や、新しい社会ニーズの発掘力といったNPO が持つ特性などと相乗効果を発揮させていくことが効果的です。しかし、現在のところ企業やNPO との連携はまだ限定的であり、さらなる拡大が必要となっています。

企業やNPO と連携した主な取組

企業・NPO 名	取組内容
中日本高速道路株式会社	・Web サイト「高速日和」において県のブログサイト「LET'S GO! あいち」や「三河の山里だより」の記事を掲載 ・サービスエリアやパーキングエリアに設置されているデジタルサイネージ（電子看板）において観光情報などを掲載
楽天株式会社	・Web サイト「楽天市場」の「まち楽」のページにおいて観光や特産品などの地域情報を掲載
NPO 法人てほへ	・NPO 法人てほへが制作した三河山間地域を紹介する動画「のき山放送局」を県のブログサイト「三河の山里だより」に掲載
NPO 法人エンド・ゴール	・NPO 法人エンド・ゴールが制作したキャラクター「知多みるく」、「知多娘」を活用して県が知多半島を紹介する動画を制作

#### 【施策の展開】

##### （連携による情報発信力強化）

- ・「愛知県と中日本高速道路株式会社との連携と協力に関する包括協定」に基づき、中日本高速道路株式会社の公式Web サイト「高速日和」やSA・PA に設置されたデジタルサイネージ（電子看板）を通じて地域情報の発信を行っていきます。（地域振興部・産業労働部・建設部）
- ・楽天株式会社のWeb サイト「楽天市場」など地域情報を発信している企業のWeb サイトと連携した情報発信を進めていきます。（関係部局）
- ・地域ポータルサイトや地域情報に関するブログサイトを開設しているNPO などとの連携のあり方を検討していきます。（地域振興部）

##### （民間Web サイトの活用）

- ・バナー広告や動画広告、あるいはクリック報酬型広告などインターネットの特性を踏まえた広告のあり方を検討し、民間Web サイトを活用した情報発信に取り組んでいきます。（関係部局）

## (4) モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化

### 4-1 研究開発の促進

#### 目 標

情報通信技術を活用した研究開発を促進し、モノづくり産業の高付加価値化を支えます。

#### 【現状と課題】

- ・ 本県の製造品出荷額等は33年連続で日本一となっており、輸送用機械を中心とするモノづくりは、本県の最大の強みとなっています。しかし、本県が今後とも世界有数のモノづくり拠点として持続的に発展していくためには、既存産業の一層の高度化を図るとともに、新たな産業の創出を図っていく必要があります。
- ・ 産業の高度化や新産業の創出を図っていくためには、組込みソフトなどの情報通信技術や、高度部材、加工技術などの基盤技術をさらに高めていく必要があります。
- ・ 最近では、情報通信技術を基盤技術として用いることで、電力の需要と供給のバランスを最適に制御するスマートグリッド（次世代送配電網）に関する実証実験が進められており、今後の市場拡大が期待できます。

#### 【施策の展開】

##### （情報通信技術を活用した次世代産業の育成・振興）

- ・ 次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギー、ロボット、健康長寿などの分野において、要素技術の一つである情報通信技術も活用した研究開発、人材育成等を支援していきます。具体的には、加工のシミュレーション技術、食品検査のシステム化、病気に関する日常から病院までの情報ネットワークの構築などについて、「知の拠点」を中心として、情報通信技術を活用した重点研究プロジェクトを推進していきます。（産業労働部）
- ・ 農商工連携の手法を通じ、情報通信技術を活かした農業を振興していきます。（産業労働部・農林水産部）

##### （スマートグリッドに関連する取組の推進）

- ・ 低環境負荷と快適な生活を両立するスマートコミュニティの実現のため、地域の電力需給のバランスを適正制御するスマートグリッド技術の実証実験を支援するとともに、新エネルギーの技術開発支援や普及促進の取組を進めていきます。（産業労働部・環境部）
- ・ 「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」における太陽光発電や風力発電などの効率化に関する取組と「豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト」の取組の連携を促していきます。（産業労働部）

## 4-2 スマートモビリティ社会の創造

### 目 標

ITSなどの新技術を活用しながら、世界最先端のスマートモビリティ社会をつくります。

#### 【現状と課題】

- ・ ITSの推進にあたっては、今後の普及が期待される次世代自動車に関する取組との連携を検討する必要があり、これらの新技術を総合的に生かしかながら、環境にやさしく、安全・安心で、利便性の高い移動が確保された社会「スマートモビリティ社会」を創造することが求められています。
- ・ 2004年度から2005年度にかけて本県で開催されたITS世界会議や愛・地球博の際にはITSの実証実験が数多く行われました。現在では、下表に示すITSのシステムが一部の地域で運用されており、効果の検証が行われていますが、これらの成果を生かして、ITSを地域に普及・定着させていくことが重要です。

警察本部における主なITSの推進状況

システム名称	概 要
安全運転支援システム (DSSS)	・運転者に交通状況等を視覚・聴覚情報にて提供し、事故を防止するシステム ・名古屋市、豊田市の8交差点で運用中
現場急行支援システム (FAST)	・緊急車両を優先的に走行させる信号制御を行い、現場到着時間を短縮するシステム ・名古屋市、豊橋市の3路線36.2kmで運用中
公共車両優先システム (PTPS)	・バス優先の信号制御等を行い、運行の定時性を確保するシステム ・名古屋市、岡崎市、豊田市の4路線の15.8kmで運用中
歩行者等支援情報通信システム (PICS)	・音声案内などにより視覚障害者の交差点横断を支援するシステム ・春日井市、碧南市の40交差点で運用中
交通情報提供システム (AMIS)	・VICS対応のカーナビ等に光ビーコンから交通情報を提供し、交通流の分散促進により渋滞を緩和するシステム ・光ビーコン設置数：約4,600基

- ・ アジアにおけるITS市場の立ち上がりを踏まえ、国では日本のITS技術の強みを生かした海外展開を官民連携で推進することとしています。

#### 【施策の展開】

##### (スマートモビリティ社会の創造に向けた総合対策)

- ・ スマートモビリティ社会を創造するため、実証実験への支援や人材育成、都市づくりなど総合的な取組を推進していきます。(関係部局)

## (ITS の普及・実用化の促進)

- ・ 地域における ITS の導入・実用化を促進するため、愛知県 ITS 推進協議会（事務局：愛知県）を中心に、市町村や企業等が行う ITS の取組への協力や支援を行っていくとともに、ITS の効果などを周知していきます。（地域振興部）
- ・ ITS の普及・啓発や人材育成を図るため、愛知県 ITS 推進協議会を中心に、ITS を紹介する総合的なイベント「あいち ITS ワールド」の開催や、「あいち ITS 大学セミナー」、「ITS 親子見学会」、会員による自主的なグループ活動などを実施していきます。（地域振興部）

## (実証実験の誘致・実用化の拡大)

- ・ ITS に関する実証実験が県内で実施されるよう受け入れ環境を整えていきます。また、豊田市で実施されている「低炭素社会システム構築実証プロジェクト」の取組など、各地で行われている実証実験の成果を県内各地域に広げる取組を推進していきます。（地域振興部）
- ・ 現在、県内で運用されている安全運転支援システム(DSSS)、現場急行支援システム(FAST)、公共車両優先システム(PTPS)、歩行者等支援情報通信システム(PICS)、交通情報提供システム(AMIS)などについては、その効果を踏まえながら、運用拡大を検討していきます。（警察本部）
- ・ ITS を活用したバスロケーションシステムの導入や IC カードの活用などにより、公共交通の使いやすさの向上を図っていきます。（地域振興部）

## (スマートモビリティの海外展開)

- ・ ITS などスマートモビリティ社会を支えるシステム技術の海外展開について、特定非営利活動法人 ITS Japan などとの連携を検討していきます。また、インフラ需要の大きい開発途上国などに対するスマートモビリティの周知を図るため、ITS などに関する研修の受入れなどについて、国際機関等（JICA・UNCRD など）と調整していきます。（関係部局）
- ・ 2013 年度に東京都で開催される ITS 世界会議の機会を利用して「ITS 先導県あいち」をアピールするため、テクニカルツアーの招致などを愛知県 ITS 推進協議会等において検討していきます。（地域振興部）

## 4-3 情報通信産業等の誘致・育成

### 目 標

情報通信産業を含む次世代成長産業の誘致・育成を図ります。

#### 【現状と課題】

- ・ 次世代産業分野の振興に情報通信技術は大きな役割を果たします。この情報通信技術をモノづくり産業に繋げることができる人材が重要となっており、こうした人材を地域全体で計画的に育成していくことが、次世代成長産業や情報通信産業の誘致・育成を促進するうえで重要となっています。
- ・ 地域の特性である製造業の集積を背景とし、製造企業向けのコンテンツを製作するビジネスが進みつつあり、更なる市場拡大が期待できます。
- ・ 創業後間もないベンチャー企業の中には、優秀な技術や商品を有しながら、資金調達、人材の確保、販路開拓などの課題に直面する場合も見られます。県を始め、国、市町村、公益法人等では、企業の成長段階や支援ニーズに応じて様々な支援施策を連携して行っています。
- ・ 本県では、インキュベーション施設「あいちベンチャーハウス」と「創業プラザあいち」を設置し、ベンチャー企業等に対し、経営指導と一体となった創業支援を行っています。

#### 【施策の展開】

##### (情報通信分野を含む次世代成長産業の誘致等)

- ・ 産業立地サポートステーションにおいて、情報通信分野を含む次世代成長産業などの情報収集を行うとともに、高度先端産業立地促進補助金や産業立地促進税制、企業庁用地に関する優遇制度などを活用しながら、それらの立地を図っていきます。また、優遇制度や支援制度の充実についても、検討していきます。(産業労働部・企業庁)
- ・ 「愛知県次世代自動車産業振興アクションプラン (仮称)」を策定し、エネルギー端末や情報端末としての機能も期待される EV、PHV 等の次世代自動車の普及、自動車産業のイノベーションの支援に取り組むことを通じ、関連する情報通信技術の振興にも役立てていきます。(産業労働部)

##### (人材の育成)

- ・ 工業高校 (総合技術高等学校 (仮称) 等) や水産高校において、情報通信技術を習得した専門的な人材を育成するため、情報通信関連技術の資格取得に向けた指導の充実を図っていきます。(教育委員会)

##### (モノづくりを支えるコンテンツ産業の振興)

- ・ モノづくり企業とモノづくり企業に有効な技術 (設計・解析、生産管理・制御技術、セールスプロモーション、業務支援・人材育成) を有するデジタルコンテンツ企業とのマッチングを促進するため、冊子やDVD を活用して企業紹介を行っています。(産業労働部)

## (中小企業等に対する ICT の導入支援)

- ・ (公財)あいち産業振興機構のセミナー、窓口相談、専門家派遣や、(株)名古屋ソフトウェアセンターの研修、コンサルティングを通じて、中小企業等が単独で、あるいは、共同して ICT を導入する取組を支援していきます。(産業労働部)

## (創業・ベンチャー企業の支援)

- ・ ベンチャー企業が技術・商品を PR するための展示会や、金融機関等とのビジネスマッチングのための商談会などを開催し、販路開拓を支援していきます。(産業労働部)
- ・ 「あいちベンチャーハウス」では、フェイスブックページを通じてきめ細かい情報提供を行うとともに、Web サイトを活用し、「卒業企業」の情報発信も行っています。(産業労働部)
- ・ 「創業プラザあいち」においては、創業準備スペースを提供するとともに、コーディネーター等が創業のノウハウや情報の提供等を行うなど、準備から創業後のフォローアップまでの一貫した支援を行っています。(産業労働部)



あいちベンチャーハウスのフェイスブックページ



創業プラザあいち

## 4-4 デジタルコンテンツ産業の育成

### 目 標

デジタルコンテンツ産業に着目し、積極的な取組を開始します。

#### 【現状と課題】

- ・ゲーム、アニメ分野などエンターテインメント系のデジタルコンテンツ関連産業については、パチンコ関連のCG制作を行う企業などが本県に立地しているものの、現在では東京一極集中の状況となっています。しかし、スマートフォンやタブレット型多機能端末などで利用するコンテンツ産業の市場規模は急速に拡大しつつあり、国などにおいても「クール・ジャパン」と称して海外市場を目指した取組が行われています。
- ・地域情報の発信に当たっても、地域の素材を魅力的な映像や写真などで表現できるコンテンツクリエイターの役割が重要となってきます。情報量の増大に伴い、多くの地域情報が埋没している状況の中、優秀なコンテンツクリエイターの集積の差は、情報発信力の差に直結する恐れすらあります。
- ・県においても、様々な分野でスマートフォン用アプリの開発を始めています。また、若手クリエイターの発掘と地域への定着を目的とした「愛知デジタルコンテンツコンテスト」の開催や、大学と連携した動画制作なども行っています。

#### アンドロイド携帯専用アプリ「ミッション in 佐久島」



#### 【施策の展開】

##### (デジタルコンテンツ産業の支援)

- ・県の施策展開の方向性にも合致するデジタルコンテンツの開発に対しては、県や関係団体が所有する写真や動画、ノウハウの提供を行うなど、積極的に支援していきます。(関係部局)
- ・県においてもスマートフォン用アプリの開発などに取り組むことで、地元企業に対して、行政分野における開発ノウハウの蓄積を促進していきます。(関係部局)
- ・(公財)あいち産業振興機構の窓口相談や、(株)名古屋ソフトウェアセンターの研修を通じて、デジタルコンテンツ産業を支援します。(産業労働部)

## (コンテンツクリエイターの発掘・育成)

- ・「ネットあいち」のトップページなどをコンテンツクリエイターの発表の場として提供するほか、海外で開催されるデジタルコンテンツフェアへの出展支援など、コンテンツクリエイターが活躍できる舞台を確保していきます。(関係部局)
- ・情報発信をリードする若手コンテンツクリエイターの発掘・育成や地域への定着を図るため、芸術系大学などと連携したコンテンツづくりや、学生や若者を対象としたデジタルコンテンツの表彰制度などを実施していきます。また、地元のデジタルコンテンツ優秀作品の上映会を実施することにより、優秀な作品に触れる機会を設けていきます。(関係部局)

「ネットあいち」や「Anime Festival Asia 2011」(シンガポール)で紹介した動画コンテンツ



「RAP THE いなりん PV」



「デート de 知多あるき」



## (5) 信頼のおける情報通信社会への進化

### 5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保

#### 目 標

ネット犯罪の防止や情報モラルの向上を図り、安心できる情報社会にします。

#### 【現状と課題】

- ・インターネット空間においては匿名性が高いことから利用者の規範意識が低下していると考えられ、各種トラブルや違法情報、有害情報のまん延を招いていることから、インターネット空間におけるマナーの向上やメディアリテラシーの育成をさらに強化していくことが求められています。
- ・不正アクセスやコンピュータウイルスの感染など、常に情報の流出、盗難、改ざん等の脅威にさらされており、インターネット利用者の情報セキュリティに対する意識向上が求められています。
- ・「デジタルコンテンツ」に係る不当請求・架空請求の相談件数は、関係機関の啓発や取締りにより年々減少しているものの、依然として多数の相談が寄せられており、若年層を中心に被害が後を絶たず、今後も啓発を強化していく必要があります。

#### 【施策の展開】

##### (ネット犯罪の防止)

- ・愛知県インターネットサービスプロバイダ防犯連絡協議会や教育機関などの関係機関・団体等と連携しながら、インターネット空間におけるマナー向上と防犯意識向上のための対策を行っていきます。(警察本部)
- ・電気やガスなどのインフラに対するサイバー攻撃に対応するため、重要インフラ企業に対し広報啓発活動を行っていきます。(警察本部)
- ・インターネット・ホットラインセンターへの違法・有害情報の自主的通報の促進など、インターネット利用者との連携によるインターネット空間の浄化を図っていきます。(警察本部)
- ・「デジタルコンテンツ」に係る不当請求や架空請求などの消費者被害を未然に防止するため、「あいち暮らしっく」などを通じた啓発事業を実施していくとともに、消費者トラブルに至った場合の相談を県民生活プラザにおいて引き続き行っていきます。(県民生活部)

##### (子どもたちの安全確保)

- ・インターネットを通じた青少年の犯罪被害を未然に防止するため、青少年やその保護者を対象に、インターネット上のコミュニケーションマナーやルール、情報発信の責任などについて学べる「インターネット利用安全・安心講座」を開催していきます。(県民生活部・警察本部)
- ・児童生徒が携帯電話やインターネットを利用する際の情報モラルの向上を図るため、情報モラル専用サイト「i-モラル」を充実していきます。(教育委員会)

- ・安心ネットインストラクターを養成し、ネット社会の危険な現状を保護者や地域の人々に対して普及・啓発するとともに、ネットの監視活動を行い、インターネット上のいじめや犯罪被害を未然に防止していきます。(教育委員会)

## 5-2 情報セキュリティの徹底

### 目 標

情報セキュリティの徹底を図り、県庁が保有する重要情報を守ります。

#### 【現状と課題】

- ・ 県の情報システムには個人情報などの重要情報が保有されており、情報セキュリティの徹底が求められています。
- ・ 情報記録媒体の盗難や紛失による重要情報の漏洩が年に数件発生している状況にあります。
- ・ 不正アクセスや新たなコンピュータウイルスの感染等によって、常に盗聴、盗難、改ざん等の脅威にさらされています。

#### 【施策の展開】

##### (情報セキュリティの徹底)

- ・ ネットワークや情報システムに対するセキュリティ対策として、情報セキュリティポリシーや実施手順の遵守状況の内部セキュリティ監査を実施していきます。また、自治体クラウドの動向など社会の変化を踏まえて、情報セキュリティポリシー等の見直しを行っていきます。(地域振興部)
- ・ 技術的なセキュリティ対策として、ファイル交換ソフトを狙ったウイルスなど、情報システムに対する新たな脅威に対応するため、費用対効果を考慮しながら、対策のためのソフトウェアやハードウェアを必要に応じて導入していきます。(地域振興部)
- ・ 人的なセキュリティ対策として、情報化リーダー研修や全庁掲示板等による情報提供を通じて職員の情報セキュリティに対する意識を高めていきます。特に、個人情報や重要情報の流出を防止するため、データの持ち出し原則禁止を徹底していきます。(地域振興部)

## 5-3 アクセシビリティの確保

### 目 標

だれもが ICT の恩恵を受けられる情報社会にします。

#### 【現状と課題】

- ・インターネット等の未利用者は減少していますが、情報通信社会の進展に伴い、未利用者の不利益が拡大する状況にあります。
- ・県の Web サイトの作成にあたっては、基本的なアクセシビリティが確保される「Web 作成支援システム」を導入しています。

#### 【施策の展開】

##### (Web サイトにおけるアクセシビリティの確保)

- ・公式 Web サイト「ネットあいち」については、基本的に「Web 作成支援システム」により作成することで、Web デザインに統一感を持たせるとともに、音声読み上げソフトなどに対応した高齢者や障害者の方にも利用しやすい Web サイトとしていきます。(関係部局)
- ・「Web 作成支援システム」を使用しない Web サイトについても、高齢者や障害者の方に配慮した Web サイトになるようガイドラインを策定していきます。(地域振興部)
- ・日本語がわからない外国人にも利用可能な Web サイトにするため、外国人の方が真に必要とする情報を中心に、外国語ページのさらなる充実を図っていきます。(関係部局)

##### (インターネット未利用者への情報伝達方法の検討)

- ・インターネット未利用者への行政情報等の伝達の充実が図られるよう、地上デジタル放送の文字情報やデジタルサイネージ（電子看板）など新たな広報媒体にも対応したメディアミックスのあり方を検討していきます。(知事政策局・地域振興部)

##### (小規模高齢化集落に対する情報発信の検討)

- ・三河山間地域における小規模高齢化集落の生活を支えるため、2010 年度に実施している「三河の山里電子回覧板等生活支援サービス基礎調査」の結果も踏まえながら、高齢者へも伝わりやすい情報発信方法や生活支援のあり方を市町村とともに検討していきます。(地域振興部)

## 5-4 地理的情報格差の解消

### 目 標

三河山間地域において、携帯電話を使いやすくします。

#### 【現状と課題】

- ・ブロードバンド環境の整備や地上デジタル放送の対応が遅れていた三河山間地域については、三河山間地域情報格差対策費補助金により市町村等が行う基盤整備を支援し、2009年度をもって対策が完了しました。
- ・携帯電話についても移動通信用鉄塔の整備に対して補助するなど利用環境の改善を支援していますが、三河山間地域を中心に不感地域が残っている状況です。
- ・国の「新成長戦略」に盛り込まれた「光の道」構想では、超高速ブロードバンドの整備・普及を目指しており、新たな情報格差が生まれる可能性があります。

#### 【施策の展開】

##### （三河山間地域における移動通信の整備に対する支援）

- ・不感地域が残る携帯電話等の移動通信については、移動通信用の鉄塔の整備に対する補助を行うことで、携帯電話事業者の進出を促進し、利用環境の拡大を図っていきます。（地域振興部）

##### （離島における対応検討）

- ・離島と他の地域との間の情報格差が広がらないよう、地元市町の意向を十分に踏まえながら対応を検討していきます。（地域振興部）

##### （超高速ブロードバンドの動向注視）

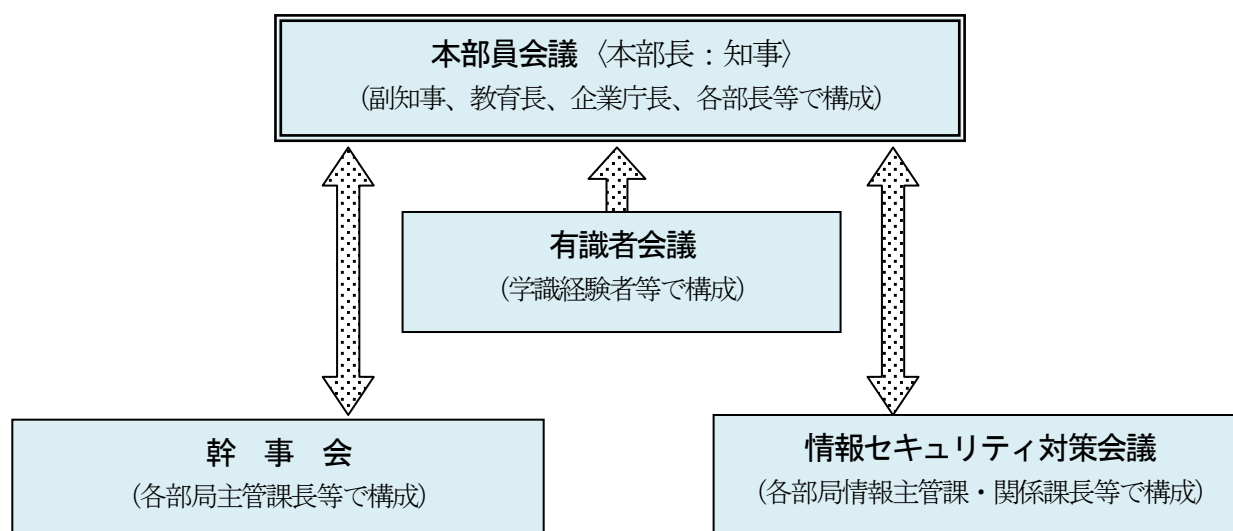
- ・超高速ブロードバンドについては、民間での整備状況や利用者の動向などを注視し、情報格差が生じる場合には、対策を検討していきます。（地域振興部）

# 6 プランの着実な推進

## (1) あいち ICT 活用推進本部による進行管理

- ・「あいち ICT アクションプラン 2015」に位置付けた施策を着実に推進していくため、担当部局は、毎年度の予算編成において重点的な検討を行い、具体化を図っていくとともに、分野ごとに策定される個別計画などにも反映させていきます。
- ・「あいち ICT 活用推進本部」においては、プランに位置付けた施策の進行管理や、情報通信社会の進展に伴う課題の把握を継続的に行っていきます。特に、プランにおいて今後検討していくと位置付けられた取組については、検討組織の設置などにより、迅速な検討を進めていきます。
- ・所管が不明確な新たな課題などが生じた場合には、あいち ICT 活用推進本部において迅速に所管の決定を行っていきます。
- ・プランに位置付けた施策の進捗状況や新たな課題などを情報共有するため、毎年度レポートを作成し、「ネットあいち」などを通じて情報発信していきます。

あいち ICT 活用推進本部の体制



## (2) 評価指標

- ・「あいち ICT アクションプラン 2015」の進行管理を的確に行っていくため、代表的な評価指標を次のとおり設定し、年度末ごとに状況を確認しながら適切な対応を図っていきます。

評価指標・目標

重点的に展開する施策	評価指標	目標
①クラウドをベースとした 業務システムへの進化	自治体クラウドを構築している市町村数	43 市町村 (2015 年度末時点)
②暮らしに役立つ 行政サービスへの進化	「ネットあいち」(トップページ)のアクセス件数	1,000 万件 (2015 年度の件数)
③デジタルコンテンツで加速する 地域ブランディングへの進化	「感☆動!あいち」の動画へのアクセス件数	50 万件 (2015 年度末までの累計)
④モノづくりの高付加価値化を支える 情報通信産業への進化	あいちベンチャーハウス入居企業の成長率 (売上高前年度比増加率 10%以上)	目標達成企業が 50% (毎年度の割合)
⑤信頼のおける情報通信社会への進化	情報セキュリティに関する研修の受講人数	前年度実績値を超える人数 (毎年度の人数)

## (3) プランの見直し

- ・「あいち ICT アクションプラン 2015」は、プランに位置付けた施策の進捗状況や、外部環境の変化などを踏まえ、柔軟な見直しを行っていきます。

## 【参考】

# 用語解説

### アクセシビリティ

情報やサービスやソフトウェア等が、どの程度幅広い人に利用可能であるかをあらわす語。特に、高齢者や障害者等、ハンディを持つ人にとって、どの程度利用しやすいかということの意味する。

### インキュベート施設

創業間もない企業等に対し不足するリソース（低賃料スペースやソフト支援サービス等）を提供し、その成長を促進させることを目的とした起業家育成施設。

### 遠隔医療

医師と医師、医師と患者との間をインターネットやテレビ電話などを活用して、患者の情報や放射線画像などを伝送し、診断等を行うこと。

### 仮想化技術

情報システムや機器の構成を、利用者から見た機能に影響を与えずに、柔軟に変更できる技術の総称。具体例としては、1台の物理サーバ（マシン）上で複数の論理サーバ（OS）を動作させるサーバの仮想化、ネットワークの仮想化、ストレージの仮想化等が挙げられる。

### クラウドコンピューティング（クラウド）

データサービスやインターネット技術等が、ネットワーク上にあるサーバ群（クラウド（雲））にあり、ユーザーは今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」利用することができる新しいコンピュータネットワークの利用形態。

### サーバ

ネットワーク上でサービスや情報を提供するコンピュータ。インターネットではウェブサーバー、DNS サーバ、メールサーバ等があり、ネットワークで発生する様々な業務を、内容に応じて分担し、集中的に処理する。

### サイバー犯罪

インターネット等を利用した犯罪やコンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪など情報技術を利用した犯罪。

### 情報セキュリティ

情報資産を安全に管理し、適切に利用できるように運営する経営管理のこと。適切な管理・運営のためには、情報の機密性・保全性・可用性が保たれていることが必要となる。

### 情報セキュリティポリシー

情報システム等において、安全確保のために明らかにする指針のこと。



## スマートグリッド

発電設備から末端の機器までを通信網で接続、電力流と情報流を統合的に管理することにより自動的な電力需給調整を可能とし、電力の需給バランスを最適化する仕組みのこと。

## スマートコミュニティ

省エネルギーのインフラや次世代送電網（スマートグリッド）などを一括整備する地域のこと。

## ソーシャルメディア

ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）、動画共有サイトなど、利用者が情報を発信し、形成していくメディア。利用者同士のつながりを促進する様々なしながりが用意されている。

## ツイッター（Twitter）

個々のユーザーが「ツイート」（tweet）と呼ばれる 140 文字以内の「つぶやき」を投稿し、そのユーザーをフォローしているユーザーが閲覧できるサービス。

## デジタルアーカイブ

芸術や産業、自然などの資産をデジタル化・データベース化し、保存蓄積すること。それらを情報発信することまで含むこともある。

## デジタルサイネージ（電子看板）

屋外・店頭・交通機関などの公共空間で、ネットワークに接続されたディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称。設置場所や時間帯によって変わるターゲットに向けて適切にコンテンツを配信可能であるため、次世代の広告媒体として注目を集めている。

## デジタル・デバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。

## デジタルネイティブ

生まれたとき、または物心がつく頃にはインターネットやパソコンなどが普及していた環境で育った世代。日本における商用インターネットは 1990 年代半ばより普及したため、おおむねこれ以降に生まれた世代を指す。

## 電子カルテ

カルテ（診療記録）を電子的に記録し、保存したもの。これにより医療機関同士の連携や地域の医療機関全体で患者をサポートする仕組みづくりなどが進むことが期待される。

## 電子書籍

書籍の体裁に近い形で、パソコンや携帯情報端末（PDA）、携帯電話などの ICT 機器で読めるようにしたデジタルコンテンツ。紙媒体の書籍と異なり、音声や動画を掲載するなど、電子書籍特有の表現を行うことが可能。

## 動画共有サイト

インターネット上のサーバに不特定多数の利用者が投稿した動画を、不特定多数の利用者で共有し、視聴できるサイト。

## トレーサビリティシステム

トレース(trace：追跡)とアビリティ(ability)を組み合わせた合成語。食品の生産、処理・加工、流通・販売の各段階で、食品とその情報を追跡し遡及できるシステム。

## パブリッククラウド

クラウドコンピューティングによって運用されるサービスのうち、一般利用者を対象に提供されるクラウドサービスのこと。多種多様な企業や組織、あるいは個人といった、不特定多数の利用者などを対象に広く提供される。

## 汎用コンピュータ

広範な分野の処理を実行できるように設計されたコンピュータのこと。メインフレームともいわれる。

## 光ビーコン

交差点などに設置された、光を用いて車載機との双方向通信を行うもの。車両の存在を感知する車両感知器としての機能も持っている。

## フェイスブックページ (Facebook ページ)

世界最大の SNS であるフェイスブックが行っているサービスのひとつであり、企業やブランド、アーティストなどが管理・運営するページ。ユーザーとコミュニケーションが可能な他、様々な情報発信をすることができる。

## プライベートクラウド

企業などの組織が自社内でクラウドコンピューティングのシステムを構築し、企業内の部門やグループ会社などに対してクラウドサービスを提供する形態のこと。

## ブロードバンド

高速な通信回線の普及によって実現される次世代のコンピュータネットワーク及び大容量のデータを活用した新たなサービスのこと。

## ブログサイト

個人の日記などを、簡便な方法で作成し、公開することができる Web サイトの総称。パソコンだけではなく、携帯電話などを使って更新できるものもある。

## ポータルサイト

インターネットに接続した際に最初にアクセスするウェブページ。分野別に情報を整理しリンク先が表示されている。

## ホワイトスペース

放送用などある目的のために割り当てられているが、地理的条件や技術的条件によって他の目的にも利用可能な周波数。

## メディアリテラシー

情報が流通する媒体(メディア)を使いこなす能力。メディアの特性や利用方法を理解し、適切な手段で自分の考えを他者に伝達し、あるいは、メディアを流れる情報を取捨選択して活用する能力のこと。

## ユーストリーム (Ustream)

インターネットを通じて動画などを配信するサービスのひとつ。多数の視聴者に向けて、音声付き動画を手軽に生中継で配信することができる。

## ユーチューブ (YouTube)

インターネットを通じて動画などを配信するサービスのひとつ。サービスは無料で利用できる。

## レガシーシステム

代替すべき新しい技術などのために古くなったコンピュータのシステムや技術。

## レセプト

保険医療機関等が療養の給付等に関する費用を請求する際に用いる診療報酬明細書等の略称。

## ワイヤレス・ブロードバンド

光ファイバーなどのブロードバンド通信に準じる通信速度を実現することができる無線通信サービスや技術の総称。

## AR (拡張現実)

現実の環境にコンピュータを用いて情報を付加することにより人工的な現実感を作り出す技術の総称。情報を付加された環境そのものを示すこともある。

## CALS/EC

公共事業に関連して、従来では紙で交換されていた情報を電子化するとともに、インターネットを活用して多くのデータベースを連携して使える環境を創出する取組み。

## eラーニング

パソコンやコンピュータネットワークなどを利用して教育を行なうこと。教室で学習を行なう場合と比べて、遠隔地にも教育を提供できる点や、コンピュータならではの教材が利用できる点などが特徴。

## EV

電気モーターを動力源として動く自動車。

## ICT

Information & Communications Technology の略。日本では、情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語として IT が普及したが、国際的には ICT が広く使われている。

## ITS

Intelligent Transport Systems の略。情報技術を用いて人と車両と道路を結び、交通事故や渋滞などの道路交通問題の解決をはかる新しい交通システムの総称。

## LAN

Local Area Network の略。企業内、ビル内、事業所内等の狭い空間においてコンピュータやプリンタ等の機器を接続するネットワーク。

**LTE**

Long Term Evolution の略。携帯電話の高速なデータ通信仕様のひとつ。高速インターネットを利用することが可能になる。

**PHV**

コンセントから差込プラグを用いて直接バッテリーに充電できるハイブリッドカー。

**SNS**

Social Networking Service (Site) の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス (サイト)。

**VICS**

道路交通情報通信システム。ITS の一種で、ドライバーの利便性向上、渋滞の解消・緩和等を図るため、渋滞状況、所要時間、工事・交通規制等に関する道路交通情報をナビゲーションシステム等の車載機へリアルタイムに提供するシステム。

**WiMAX**

Worldwide Interoperability for Microwave Access の略。高速、大容量のモバイルブロードバンド通信の方式のひとつで、外出先や移動中などでも、高速インターネットを利用することが可能になる。